

7. 近畿（地域別調査機関：（株）大和銀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	競輪場（職員）	・11月に最高格のG1レースが開催されるため、乗客数の増加が見込まれ、売上の増加が期待できる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・秋、冬物の取り置きや注文が多く入っており、やや上向き。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・これからワインの消費量が増加する時期となるが、最近、店が新聞等で取り上げられており、客が大幅に増加すると見込んでいる。
		百貨店（売場主任）	・改装に伴い、広域からの来店促進が見込まれ、売上の増加が期待できる。
		百貨店（売場主任）	・店頭で行っているアンケート調査等によると、これまで消費者は買物を我慢しており、秋冬は買物をしようという傾向にある。
		スーパー（企画担当）	・地場産業である梅の相場が若干良く、昨年より消費が少し上向きと予想している。
		家電量販店（店長）	・家電協会での数字は下がっているが、協会に加盟していないカメラ系大手のディスカウント店の数字を合わせると、むしろ前年を上回っている。販売内容、販売努力によって優劣の差がついてきており、総合的には市場は活性化していく。
		乗用車販売店（営業担当）	・10月にも新型車が発表され、ヒットすることが大いに期待される。
		高級レストラン（支配人）	・観光シーズン到来と地域的なイベント開催により、売上増加が予測される。
		旅行代理店（店長）	・国内旅行は秋シーズンの受注が順調に入り出しており、パンフレットも以前に比べると良くはけるようになってきている。海外旅行も順調で、夏の旅行で不振であったOL層の来店が徐々に増加してきている。
		通信会社（社員）	・一時的な押し上げにしかないのではという不安は残るものの、秋には機能を充実させた新商品のラインナップが揃う。
		通信会社（社員）	・ブロードバンド業界では、事業として利益を生み出せる構造にはなりきれていないものの、投資が活発に行われている。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・受験を意識しだす時期となり、その分活気が出てくる。今まで部活動に専念していた子供が塾に通い出すことが期待される。
		変わらない	商店街（代表者）
商店街（代表者）	・株価の低迷に加え、可処分所得の減少が大きく影響し、必要な物以外は買わないという傾向がまだまだ続く。		
一般小売店〔時計〕（経営者）	・新しい物の購入、買替え等のモチベーションが高まる雰囲気がない。		
一般小売店〔野菜〕（店長）	・昔のように客が大量に買い込んでいくということがなく、シビアに必要な物を少しだけ購入するという状態で、伸びていく気配が全く感じられない。		
百貨店（売場主任）	・ファッション部門では、これといったトレンドが見当たらず、購買意欲をそそる商品が実現するまでは苦戦が予想される。		
百貨店（売場主任）	・今秋以降、京都地区ではリニューアル、開業が多く、観光シーズンでもあるため、ひどい落ち込みとはならない。		
百貨店（売場主任）	・食料品の販売やセール品中心に動いており、単価ダウンが懸念される。今後の景気が上向きという感じではない。		
百貨店（売場主任）	・買い控え感は今後も継続すると予想される。売上の悪化により、販売側が小売り価格を下げることで消費を刺激する傾向がより強くなっているため、更なる単価ダウンを引き起こすことが予想される。		
百貨店（企画担当）	・婦人物のレザージャケットやカットソーなど、秋物に一部動きがあるが、景気に大きくプラスとなるようなヒット商材になるとは考えにくい。		
スーパー（店長）	・立地特性もあり、例年秋物の動きは他店に比べて早い。今年は夏物在庫を絞って、秋物商材の早めの投入を行ったが、例年ほどの動きはなく、厳しい商戦となる見通しである。		
スーパー（経理担当）	・食品、食材提供者に対する不信感があり、安全性を訴えることのできない企業は今後厳しい。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（営業・販売）	・購買意欲の高い客層と、購買意欲の全くない客層が完全に分かれていく。
		家電量販店（企画担当）	・エアコンシーズンが終わり、秋商戦にこれといった商品はない。
		家電量販店（営業担当）	・現状の客の動向からすると、来客数は落ちてきていないが、買物目的を持って来る客が少なくなっている。 ・ついで買いや衝動買いが極端に減り、単価の高い商品に関しては、じっくりと時間をかけて選ぶか、故障して困り、慌てて来店し、その時に財布から捻出できる範囲の安めの商品を選ぶようになっている。
		住関連専門店（経営者）	・商品の最終需要先である飲食店の売上が低迷しており、収益も厳しい状況が予想されることから、一層の新規開店は期待しにくい。
		旅行代理店（営業担当）	・国内は熟年を中心に予約が入っているが、海外は依然として厳しい状況にある。
		旅行代理店（広報担当）	・夏休みの旅行の受注が今ひとつ伸びなかったなかで、秋の行楽シーズンの受注状況も決して良くない。国際化傾向が進んでいる状況から、秋も最終的には良くなるという読みもあるが、夏の状況を踏まえる限りは、あまり期待できない。
		タクシー会社（経営者）	・客も節約する人はほとんど節約し、必要のある人だけが利用するという状態が続いており、今後もしばらく同様に推移する。
		ゴルフ場（経営者）	・近隣の同業他社も大幅な割引料金を打ち出しているため、今後も客単価の下落は必至である。
		その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・ホールの稼働日を見ると、今月は超多忙、来月は超閑散というようにばらつきがある。 ・今後、恒例のコンサートやイベントはあるものの、新規のものが見当たらない。
		その他サービス [ビデオ・CDレンタル] (エリア担当)	・新規出店ペースが通常よりやや低めであり、売上の増加もあまり期待できない。
		設計事務所（経営者）	・単発の案件では好調な売上を示す店舗はあるが、トータルとしての利益が出てこないなど、企業運営が息詰まっている。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・最近、売れていた一部の高級品もストップし、軒並み単価ダウンとなっており、当分この状態が続く。
		百貨店（担当者）	・前年は地元プロ野球球団の優勝セールもあり、数字は好調であったが、本年はその見込みもほとんどなく、売上は大変苦しくなる。
		百貨店（営業担当）	・昨年は地元プロ野球球団の優勝セールで、9、10月と売上が好調に推移したが、今年はそれに代わる好要因がない。催事企画は考えているが、売上には結びつきにくい。
		百貨店（営業担当）	・他店他社のリニューアル等によって競争がさらに激化している。当社の弱いところをついたりリニューアルにより、雪だるま式に客が他店他社に流れるように思われる。
		コンビニ（経営者）	・公共工事の減少に伴う工事関係者の利用低下などには、さらに拍車がかかる。 ・アルコールに関しても、発泡酒への主力移行に伴い、極端な低単価化がさらに進む。
		衣料品専門店（経営者）	・衣料品の場合、例年、夏の終わりに秋の売れ筋がみえてくるが、今年度ははっきりとしたものがみえてこない。
		乗用車販売店（営業担当）	・無料洗車券、千円購入券等をダイレクトメールで配っており、それに対する動きは非常に活発であるが、依然財布のひもは固く、客の購入に対する決定がますます遅くなってきている。
		スナック（経営者）	・定期的な常連客や不況に強い公務員の客にも、リストラ、給料カットなど暗い話題が多い。
		都市型ホテル（スタッフ）	・11月の紅葉シーズンにはある程度宿泊が見込まれるが、今年は、単価を下げてでも先行予約は悪く、苦戦が予想される。
		都市型ホテル（副総支配人）	・宿泊・宴会とも、予約状況を見る限り、手堅い需要は見込みにくい状況である。
		通信会社（経営者）	・行すべき開発案件はいろいろあるが、クライアントの予算が縮小している。
		ゴルフ場（経営者）	・10、11月とも、現時点での予約状況は、約1割減少となっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他レジャー施設 [ 球場 ] (企画担当)	・プロ野球シーズンが終わり、コンサートや企業イベントが主体となる季節となるが、現在ではイベントの予定はあまり多く入っていない。
		美容室 (経営者)	・当店または近隣の店舗では固定客のみで新規客をのぞめなくなっており、閉店する店舗が増加している。
		住宅販売会社 (従業員)	・景気の先行きが不透明ななか、業界内での需給調整への目立った動きがなく、今後も価格競争が続く。
		その他住宅 [ 情報誌 ] (編集者)	・堅調な供給となっている新築マンションであるが、販売在庫の積み上げは徐々に増加してきており、新規発売分と合わせてマーケットでの過剰感が出てくる気配がある。
	悪くなる	商店街 (代表者)	・地元企業の倒産が続いており、良くなる材料がない。
		コンビニ (経営者)	・近くに新しく他社のコンビニが出店し、現在でもオーバーストアな状況が一層厳しくなる。
		タクシー運転手	・相変わらず来客が少ない。安い料金設定の会社の方へ客が流れていっている。
		通信会社 (経営者)	・決済場所がどんどん東京に移り、東京に事務所を移さないのなら今後のつきあいはない、といった話もあがっている。
		その他住宅 [ 展示場 ] (従業員)	・住宅市場のパイの減少から、競争が激化している。客単価が1割以上減少しているという話を聞いている。
企業 動向 関連	良くなる	電気機械器具製造業 (経営者)	・液晶装置メーカーや製造装置メーカーが年度後半に向け、30~40%の増産を目論んでいるため、部分的ではあるがかなり景気は上向く。
	やや良くなる	輸送用機械器具製造業 (経営者)	・小口ながら受注があり、工場稼働率が上昇してきている。
		建設業 (経営者)	・下期の仕事の発注が出てきており、これから建設業の繁忙期になっていくこともあり、しっかりと仕事をこなしていけば忙しくなる。
		広告代理店 (営業担当)	・先行きは不透明ではあるが、10月以降、テレビスポットの発注が持ち直しそうな気配がある。
	変わらない	繊維工業 (団体職員)	・当産地は年末を迎え、需要期に入る。確かに受注量は今月より増加するが、デフレ等の影響により、企業の採算性は改善されない。当産地を取巻く景気状況は低迷したままである。
		出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・今後2、3か月先ではあまり変化はしない。印刷業界での近畿地区の売上、受注件数等の指標は全国平均を下回っており、依然低迷を続けている。回復傾向には程遠いと感じられる。
		金属製品製造業 (経営者)	・物の価格が国際化しているなか、為替の変動が大きすぎて、製造業にとっては将来が見えない。
		電気機械器具製造業 (企画担当)	・当社の業績を大きく作用する住宅着工に、力強さが感じられない。
		建設業 (経営者)	・住宅需要はまだまだあると思われるが、購入者の購入意欲が、収入の減額、リストラ等により低下しているため、当分景気は良くならない。
		輸送業 (営業所長)	・秋から冬にかけて多少の荷動きはあるが、運賃の下落が大きく、大幅な売上の増加は見込めない。
不動産業 (経営者)		・業種によって格差はあるが、店舗関連の出店意欲は旺盛である。	
やや悪くなる	食料品製造業 (経営者)	・食品に関する不祥事のため、物が売れない。	
	食料品製造業 (従業員)	・販売価格は以前とくらべて底値安定とはいえず、まだまだ下がる可能性がある。メーカーとしては利益がなく、ぎりぎりの状態であり、この状態が続くとまだまだ悪くなる。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業 (経営者)	・材料メーカーが、秋に値上げを予定しており、更に悪くなる。	
	一般機械器具製造業 (経営者)	・得意先の在庫が、大幅に増加している。	
	建設業 (経営者)	・公共工事が減少し、それに伴って競争が激化している。 ・地元信用金庫の合併による融資枠の削減が予想され、体力のない業者が、更に低価格競争に拍車をかける。	
	建設業 (経営者)	・今の景気がV字回復する期待はもてない。建設業は、景気が回復してから、それからの設備投資の計画が始まるため、受注時期はワントン遅れる。	
悪くなる	不動産業 (営業担当)	・これから年末にかけ、倒産件数が昨年以上に増加することが予想される。それに伴い、売り物件が増加し、土地の相場はなお一層冷え込み、景気は更に悪くなる。	
雇用	良くなる	-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
関連	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・企業はそれぞれ厳しいところに直面して、絞れるところまで絞っている。今後仕事量が増加すると見込んでいる企業が多く、求人数の増加も見込まれる。
		民間職業紹介機関（支社長）	・秋にかけて、近畿の一部メーカーの採用が活発化しており、少しずつ良くなる。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・求人数は年末までの短期需要がほとんどであり、来年の採用者数は未知数で、先が読めない。一方、求職者数は増加傾向にあり、特に中高年者の配属先が減少している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・現況では未だ明るい材料が見当たらず、企業の採用側からすると、優秀な人材を採用したいが、転職者やアルバイトの質が低下しており、過去にあったような妥協採用はなくなっている。 ・安定を望む傾向があり、9月以降の公務員試験への応募が増加しているという話を聞く。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・企業の正社員を採用する動きが鈍っているが、パートやアルバイトなど非定期社員の採用が活発化している。
		職業安定所（職員）	・神戸地域では、依然として雇用環境の改善には至っていない。大手スーパー関係の閉鎖も予定されており、依然としてリストラ環境にある。
		職業安定所（職員）	・求人は増加しているが、求職者が減少しない。以前は、リストラは大手企業に多かったのが、中小企業にまで広がって、求職者が高い水準で推移している。今後、良くなると楽観視はできない。
	職業安定所（職員）	・管内において若干新規求人数は上向いているものの、企業倒産件数は過去10年間で最も多く、今後2～3か月で景気が回復する見込みは薄い。	
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・大手、中小を問わず、倒産や事業の廃止、統合などの動きは止まっていない。 ・食品会社の不祥事が次々と明るみになり、食に対する不振が募り、消費の落込みが心配される。そうした企業の雇用の問題が、今後大きく広がっていく可能性もある。
	悪くなる		